

# 日本植物園協会ナショナルコレクション

認定番号005 兵庫県立フラワーセンター ウツボカズラ属の原種の系統保存コレクション



ウツボカズラは、熱帯アジアを代表する食虫植物です。葉の先端からツルを伸ばし、蓋の付いた捕虫袋を付けます。日本へは 1900 年代初めに渡来したとされ、戦後に多くの種類が導入されました。しかし、温室などの加温設備が必要な上、それぞれの種にあわせた総合管理が必要で、繁殖も難しいことから、長期間の保存・展示が困難とされてきました。当園では、この捕虫袋の形態や仕組みが観察対象に優れた性質を有していることから、1988 年より継続的に収集・栽培・展示を行ってきました。原種 53 種、変種 1 種、134 系統があり、国内屈指のコレクションとして定評を得ており、野生種の貴重な生きた資料として、生育域外保全にも繋がっていくと考えます。

## コレクションの栽培管理と保全および公開状況

コレクションの多くは育成温室で管理しています。挿し木、播種、植え替え、病害虫防除を行い、健全な状態で管理しています。繁殖の難しい種類については、なるべく複数株を保有するようにし、可能な範囲で、国内の植物園や個人愛好家に分譲するようになっています。

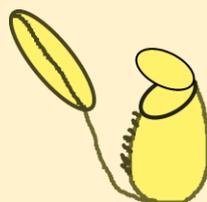


挿し木繁殖



世界初成功の実生苗

常設展示（食虫植物室）のほか、夏場の食虫植物特別展示（ラン室）で展示しています。



貴重な野生のウツボカズラ、コレクションです



National  
Collection

JABG National Plant Collection  
Cultivation System

兵庫県立 **フラワーセンター**



〒679-0187

兵庫県加西市豊倉町飯森 1282-1

<http://www.hyogo-park.or.jp/flower-center/>

0790-47-1182